

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

「2013年ロータリー財団研修:未来の夢への準備セミナー」が、2013年1月17日～20日、米国カリフォルニア州、サンディエゴで開催され、ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長、ロータリー財団地域コーディネーターが、研修を受けました。

●国際協議会

【次年度テーマ】

米国サンディエゴで開催中された2013年国際協議会の開会本会議で、ロン・バートンRI 会長エレクトが2013-14年度のテーマ、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」“Engage Rotary, Change Lives”を発表しました。ロータリー財団の新しい補助金モデルが7月から全地区に導入されることに触れた会長エレクトは、今がロータリアンにとって「興奮に満ちたとき」であると述べました。

【次年度財団の目標】

ロータリー財団の李東建D.K. Lee 管理委員長エレクトは、2013-14年度の財団目標について説明しました。①ポリオ撲滅、②未来の夢補助金モデルの立ち上げ、③革新的なプロジェクトへのロータリアンの参加、他団体とのパートナーシップ、④年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築くことなどを、目標として紹介しました。この本会議には、2013-14年度地区財団委員長も参加し、未来の夢全世界導入に備えるため、2日間の集中した研修を受けました。日本のロータリアンにとっても、立場が異なる他国の意見や今後のプロジェクトの実践への第1歩となりました。

●ロータリー財団の補助金制度 (未来の夢)

【オンライン申請】

2013年1月から、2013-14年度グローバル補助金とパッケージ・grantへのオンライン申請画面が利用可能になりました。新しいオンライン・システムはwww.rotary.org/ja/grantsからアクセスができます。会員アクセスページ(MAP)と同じユーザーIDと

パスワードを利用できます。このページは会員アクセスページ(MAP)内の“FVGL Drupal”からもリンクしています。

4月1日からは、全地区が新しいオンライン・システムを通じて申請します。

【ロータリー平和フェロースhip】

英文のロータリー平和フェロースhipの申請書がWEBページにアップされました。資格基準などの変更はありませんが、エッセイの内容が変更され、語学教師による語学力証明書は不要となりました。語学能力については自己評価と英語の語学試験の結果を添付します。

2014年の申請書のロータリー財団への提出締切は7月1日です。英文の申請書のみを提出します。地区は資金提供にかかわらず何名でも候補者を推薦することができます。ロータリー平和フェロースhipについては、新しいロータリーの補助金ページもご覧下さい。クラブや地区は選考のために日本語の申請書を利用することもできます。日本語版も近日中に更新の予定です。

●ポリオ・プラス

【ポリオ症例数】

2013年2月6日現在のポリオ症例数です。

	2013年 1月1日～2月6日	2012年
アフガニスタン	0	37
パキスタン	1	58
ナイジェリア	0	121
インド	-	-
ポリオ常在国以外	0	6
世界合計	1	222

現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。2013年の最初のポリオ発症の報告はカラチ(パキスタン)からでした。

昨年同時期のポリオ発症件数は12例でした。